

都市再生機構保全工事共通仕様書 (平成29年版) 抜粋

2章 防水修繕工事

5節 脱気絶縁複合防水(歩行用・軽歩行用)

2.5.2 脱気絶縁複合防水 (歩行用ウレタンゴム系全面修繕1回目)

2.5.1表 脱気絶縁部(平場部)の工程

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	接着剤	0.2kg以上	くしごて、はけ塗り又は クシ目バケ	-
	プライマー ^{(注)1}	0.15kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	0.5～2時間
2	通気緩衝シート ^{(注)1,2,3}	-	張付け	-
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^{(注)4}	1.5kg	くしごて、金ごて又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
4	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^{(注)4}	1.5kg	くしごて、金ごて又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
5	層間プライマー	0.1kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	-
6	無機質系防水保護塗料	1.0kg以上	こて塗り、はけ塗り又は ローラー塗り	3～6時間

- (注)1 工程1のプライマーは、工程2に自己接着性の通気緩衝シートを使用する場合に用いる。
 2 工程2の通気緩衝シートは、ポリマー改質アスファルトシート又はゴムシートとし、合成繊維不織布を使用する場合は、ウレタンゴム系塗膜防水材の塗布量を4.5kg以上とし、塗膜防水材の塗布工程を3工程に分けて塗布する。
 3 工程2の通気緩衝シートは、脱気機能を有するものとする。
 4 工程3、4のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあつては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2.5.2表 庇, 架台天端及び立上り部等の工程

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	プライマー	0.2kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	1～3時間
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材(立上り用) ^(注)	0.5kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	-
3	補強布	1.1m	-	-
4	ウレタンゴム系 塗膜防水材(立上り用) ^(注)	1.0kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
5	ウレタンゴム系 塗膜防水材(立上り用) ^(注)	1.0kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
6	層間プライマー	0.1kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	-
7	無機質系防水保護塗料	1.0kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	3～6時間

(注) 工程2, 4, 5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は, 硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており, 硬化物密度がこれ以上の場合にあっては, 所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2.5.3表 ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着工法の工程(平場)

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	プライマー	0.2kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	1～3時間
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^(注1)	0.3kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
3	補強布	1.1m	-	-
4	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^(注1)	1.5kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
5	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^(注1)	1.2kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
6	層間プライマー	0.1kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	-
7	無機質系防水保護塗料	1.0kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	3～6時間

(注) 1 工程2, 4, 5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は, 硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており, 硬化物密度がこれ以上の場合にあっては, 所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 ウレタンゴム系塗膜防水材は, 工程を増やすことができる。

2.5.3 脱気絶縁複合 防水 (歩行用ウレタン ゴム系全面 修繕2回目以降)

2.5.4 表 ウレタンゴム系塗膜防水工法・密着工法の工程
(庇, 架台天端及び立上り部等)

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	プライマー	0.2kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	1～3時間
2	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用) ^(注1)	0.3kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
3	補強布	1.1m	-	-
4	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用) ^(注1)	0.9kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
5	ウレタンゴム系塗膜 防水材(立上り用) ^(注1)	0.8kg	こて, ゴムベラ又は はけ塗り	製造所の仕様 による。
6	層間プライマー	0.1kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	-
7	無機質系防水保護塗料	1.0kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	3～6時間

(注)1 工程2, 4, 5のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は, 硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており, 硬化物密度がこれ以上の場合にあっては, 所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 ウレタンゴム系塗膜防水材は, 工程を増やすことができる。

7節 バルコニー等床防水工事

2.7.1 表 ウレタンゴム系塗膜防水工法の工程

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	プライマー	0.15～0.25kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1～6時間
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^{(注)1}	2.0kg	こて塗り又は ゴムベラ塗り	8～16時間
3	仕上塗料(1回目) ^{(注)2}	0.1kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1～7時間
4	仕上塗料(2回目) ^{(注)2}	0.1kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1～7時間

(注)1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は, 硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており, 硬化物密度がこれ以上の場合にあっては, 所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

2 工程3及び工程4の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。

2.7.2 ウレタンゴム系 塗膜防水工法 (全面修繕1回 目)

2.7.3 ウレタンゴム系 塗膜防水工法 (全面修繕2回 目以降)

2.7.2表 ウレタンゴム系塗膜防水工法2回目以降の工程

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	プライマー	0.1 ~ 0.2kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1 ~ 6時間
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材 ^{(注)1}	1.5kg	こて塗り又は、 ゴムベラ塗り	8 ~ 16時間
3	仕上塗料 (1回目) ^{(注)2}	0.1kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1 ~ 7時間
4	仕上塗料 (2回目) ^{(注)2}	0.1kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1 ~ 7時間

(注)1 工程2のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物密度が1.0Mg/㎡である材料の場合を示しており、硬化物密度がこれ以上の場合にあっては、所要塗膜厚を確保するように使用量を換算する。
2 工程3及び工程4の平場部における骨材使用量は製造所の仕様による。

10節 階段室床防水工事

2.10.2 超速硬化ウレタン 吹付工法 (全面修繕1回 目)

2.10.1表 超速硬化ウレタン吹付工法の工程

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	一液性湿気硬化型のウレタンゴム系プライマー又はエポキシ系プライマー	0.15kg以上	はけ塗り又は ローラー塗り	0.5 ~ 1時間 程度
2	超速硬化ウレタン 吹付け材	1.5kg	吹付け	-
3	仕上塗料	0.15kg	はけ塗り又は ローラー塗り又は吹付け	0.5 ~ 1時間 程度

2.10.3 超速硬化ウレタン 吹付工法 (全面修繕2回 目以降)(仕上 塗料塗替え)

2.10.2表 仕上塗料塗り替え工法の工程

工程	材 料	使用量 /㎡	工 法	養生時間
1	一液性湿気硬化型のウレタンゴム系プライマー又はエポキシ系プライマー	0.1 ~ 0.15kg	はけ塗り又は ローラー塗り	1 ~ 2時間 程度
2	仕上塗料	0.15kg	はけ塗り又は ローラー塗り	0.5 ~ 1時間